

令和7年度 5歳児 「運動会 学年の遊び」(新設)

(子どもの姿に応じて計画を見直す。特に柔軟に変更可能な箇所を網掛け、実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を~~囲み文字~~にて示す。)

1. 期間 9月～10月

2. 設定の理由

3歳や4歳の時に、様々な登場人物になりきり、なりきって遊ぶことを楽しんだり、具体的な場面を思い浮かべながら、動き方や話し方などを考えて身体で表現することを楽しみ、登場人物の気持ちを感じたりしている。5歳の1学期にも、なりたいキャラクターや動物などになりきり、衣装を作つて身につけたり、友達と一緒に遊びに必要なものを考えて作つたり、遊びの設定を考えたりして、言葉や動きなどでなりきつて表現することを楽しんでいた。また、4歳から5歳にかけて、鬼ごっこやショーごっこなど、いろいろな遊びの中で、必要を感じてルールや遊びの設定、必要なものなどを友達と一緒に考えたり決めたりする経験を積み重ねてきている。

5歳の1学期には、好きな遊びでは、ショーごっこや猫ごっこ、レストランごっこ、鬼ごっこ、川・池作りなどにおいて、したい遊びが同じ友達と一緒にしたいことを話したり決めたりしながら、自分たちで遊びを進めてきた。また、学級集団の遊びにおいては、クラスでルールのある遊び（鬼ごっこ）をし、必要に応じてルールを決めたり変えたり加えたり、自分たちで合図を決めたり声を掛け合つたりして遊びを進めたり、チームの友達と声を掛け合つたり応援したりして力を合わせて一緒にする楽しさを感じたりしている。

また、新しい遊具で遊ぶ中で、冒険タワーから飛び降りたい、高い方から飛び降りたい、パイプの滑り台を滑りたい、登り棒を登りたい、ターザンロープにぶら下がりたい、ロープの上に登りたい、一輪車に乗れるようになりたい、山の滑り台でいろいろな滑り方をしてみたいなど、挑戦したいことを決めて、できるようになりたい、上手になりたいと思ってやってみたり、いろいろな動きに挑戦する中で、身体を動かす楽しさや心地よさを味わつたりしている。

そこで、運動会の遊びの中で、発達に応じた様々な動きに挑戦し、少し難しいことができるようになっていくことで、達成感から自信をもち、さらに次の目標に向かって挑戦していくこうとする意欲を育んでいきたい。~~表現の要素も取り入れていくことで、運動的な遊びに苦手意識をもつ~~

~~子も、楽しさを見出すきっかけにもなると考える。~~そして、学年で取り組み、遊びを一緒に作り出することで、いろいろな友達の考え方や個性を知り、関わりを広げるきっかけになつたり、みんなで一緒に作り上げた満足感を感じたりできるようにしたい。また、競技的な遊びを取り入れることで、勝ち負けにこだわり、勝てるようになるためにはどうしたらよいのかを考えて仲間と一緒に心と力を合わせて取り組むようになる。競技的な遊びを作る過程において、条件を公平にするためにルールが必要なことを、ルールのある遊びを通して学んでいき、必要なルールを決めていくことしたり、必要があって納得して決めたルールを進んで守ろうとするようになったりしていく。また、条件を公平にしたり、勝ち負けを判断したりする際に、人数を揃える、数を数えたり比べたりするなどが必要になり、自分達の生活の中で必然的に数・量に関する学びも期待することができる。

3. ねらい (考え方方が発揮・伸長されることを想定している部分を下線で示す。)

- ① できるようになりたい、もっとうまくできるようになりたい、勝ちたい、遊びを面白くしたいなどと目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続けたり、繰り返し挑戦したりしようとする。 自ら決める・選ぶ
- ② 自分の考えたことやできるようになったこと、上手になっていること、友達と一緒に遊び方や動き方を考えたことから、~~遊びがより面白くなっていることや前~~とは違う自分を感じて自信をもつたり、実現したいことに向けて頑張ったことややり遂げたことに満足したりする。 充実感を得る
- ③ 自分の思い通りにしたい、うまくいかなくて悔しいなどの気持ちを、友達の気持ちを聞いたり様子を感じたり、友達や先生に励まされたり、先生から周りの状況を知らされたり、目指す自分に照らし合わせたりして、切り替えようしたり、納得いくところに落ち着けようしたりする。 気持ちをコントロールする

- ④ 友達や教師から頑張っていたことや見て感じたことを言ってもらったり自分で振り返ったりして、自分の気持ちや言い方、好きなこと、苦手なこと、成長、頑張り、性格を自覚したり認めようとしたりする。 自分のことを知る
- ⑤ 教えてくれる友達や応援してくれる友達の存在を感じ、助けてくれる友達や一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じる。 他者といふ喜びを感じる
- ⑥ 友達と一緒にになって、できるようになったことやうまくいったことを喜んだり、うまくいかず悔しがったり、一緒に遊びを創りあげたり進めたりし、仲間とのつながりを感じる。 他者といふ喜びを感じる
- ⑦ いろいろな友達の考えのよさや気持ち、得手不得手、頑張りに気付いたり認めたりする。 他者のことを知る
- ⑧ 遊びを面白くするために考えたことを相手に伝わるように、言葉を足したり言い換えたり **大きな声で言つたり** して伝えようとしたり、伝えて聞いてもらえた、遊びが面白くなったことを感じ、伝えることのよさを感じたりする。 自分のことを伝える
- ⑨ 友達の様子を見て、分かっていらないことを教えてあげようとしたり、したいことが思うようにできず困っている友達を見て、自分が感じているコツを教えた
り、友達が自分でできるようにどこまで手伝つたり教えたりしたらよいか考えようとしたり、挑戦している友達を励ましたりしようとする。 他者のことを考えて行動する
- ⑩ 遊びを面白くするため、勝つために、また、みんなが納得できるように、自分ができることを見付けてしようとしたり、遊び方やルール、進め方、場の使い方、作戦等を友達と一緒に考えたり、試して振り返つたりして、決めたりしようとしたり、自分達で遊びを進めようとしたりする。 人と物事を進める
- ⑪ 友達と一緒に準備や片付けをするために、自分ができることをしようとしたり、声を掛け合って集まろうとしたり、**やり方を考えたり確認したりして**、決めた役割を責任をもってしようとしたりする。 人と物事を進める
- ⑫ 痛い思いをしたりさせたりしないように、周りの人やものに注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとしたり、痛い思いをしたり危ないと感じたりして、どうして危なくなったのかを振り返って考え、危なくないようにしようとしたりする。 身を守る
- ⑬ 友達の動きや遊具、道具、したい動きに合わせた体の動かし方や使い方、力加減、タイミングを見たり考えたり試したりして、コツや感覚をつかみ、意識して体を動かそうとしたり、いろいろな動きの感覚を感じたりする。 体の動きや感覚を磨く
- ⑭ 公平になるように数を揃えたり、勝負を決める時に数えたり速さを競つたりするなど、数を使って考えたり判断したりしようとしたり、遊び方や動きから道具を置く位置や間隔などを調節しようとしたりする。 数・量や形、空間を捉える
- ⑮ 遊びやすく、**見やすく**、わかりやすくなるように、道具や並び方、並んだり待つたりする場所や向きなどを必要に応じて考えたり変えたりして場を整えようとする。 場や状況を整える
- ⑯ 友達の話し方を聞いて、わかりやすい言い方を感じたり、自分の思いや考えを、相手に分かるように、言葉を足す、言い換える、選ぶ、つなげる、順序立てる、理由を添えるなどして伝えようとしたりする。 言葉に表す
- ⑰ 遊びのイメージや世界観に関連のある絵本や図鑑を見たりお話を聞いたりして、なりたいもののイメージを広げたり、なりたいものの気持ちや生態、状況から動き方や話し方、表現の仕方を考えたり友達の表現のよさを取り入れたりして、表現する楽しさを感じたりする。 体や動きで表す
- ⑱ 遊びがより面白くなるルールや設定、流れなどを考え、その効果を感じたり、作ったたり作り替えたりする楽しさを感じたりする。 演出・構成する
- ⑲ お客様に見てもらうことを意識して、並び方や体の向き、待つたり出たりする位置や待ち方等を考えようとする。 演出・構成する

4. 展開

運動会に気持ち
が向かい、してみ
ようと思う

遊びが楽しくな
るように、遊びの
設定やルール、遊
び方などを、繰り
返し遊びながら
必要に応じて創
り出す

人に見てもらう
ことを意識して
表現の仕方や並
び方を考えたり、
繰り返し遊び込ん
だりする

自分達の取り組
んできた頑張り
を見てもらう

A【運動会の話をする】

- ・年中や年少の時の運動会の話をしたり聞いたりする
- ・年長の1学期にした遊びを振り返る
- ・運動会でしたいことを話したり聞いたりする

BC【友達と一緒に遊び を創る】

- ・遊び方を考える
- ・考えた遊びをやってみる
- ・必要を感じルールや設定を考えたり決めたりする
- ・自分達のチームが勝てるよう作戦を考える
- ・繰り返ししながら困ったことやおかしいと思うことを出し合い、納得のいくようにルールを作り替えたり足したりする
- ・挑戦してきたことや考えた遊び、なりたいものの組み合わせて遊びを考える
- ・流れが分かって、次の準備をしたりタイミングを計ったりして自分から動こうとする
- ・より見やすくしたりするように、並び方や位置、向き、待ち方等を考える

CB【いろいろな 動きや技に挑 戦したり体を 動かして遊ん だりする】

- ・いろいろな動きや技をしてみる
- ・挑戦している姿を見せ合う
- ・繰り返し挑戦する
- ・できるようになったことや上手になってきていくことを見せ合う
- ・友達を応援したりコツを教えたりする
- ・できるようになったことを一緒に喜ぶ

D【道具を準備を したり片付け たりする】

- ・自分のしたい準備や片付けをする
- ・自分の担当を決める
- ・準備や片付けの役割を果たす

E【運動会で見てもらう】

- ・自分達の頑張ってきたことを見てもらう

A【運動会の話をする】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・年中や年少の時の運動会の話をしたり聞いたりする ・年長の1学期にした遊びを振り返る ・運動会でしたいことを話したり聞いたりする 	<p>○運動会のイメージを膨らまし、楽しみにしたり、やってみたいことを思い浮かべたりする①</p>	<p>◎運動会で取り組んできたことや、自分達が見てきた年長児のことを思い出して楽しみに思えるように、年少・年中の時にしてきたことや、年長児がしていたことを尋ねる。</p> <p>◎運動会でしたい遊びを思い浮かべられるように、1学期に楽しんでいたことや考えていたことを尋ねて振り返る。</p> <p>◎運動会でしたいことを考えられるように、運動会を通して大事にしたいこと「ともだちといっしょに」「ちからをあわせる」「からだをうごかす」「きそう」「ちょうせんする」「つくりだす」をみんなで共有し、一つ一つの意味について確かめてから、したいことを尋ねる。</p> <p>◎運動会に向けて楽しみにしながらやりたいと思えるように、みんなで考えると楽しくなりそうなことを伝えたり、楽しみに思っている気持ちに共感したりして、やりたいという気持ちを盛り上げる。</p>

B【友達と一緒に遊びを創る】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・遊び方を考える ・考えた遊びをやってみる ・必要を感じてルールや設定を考えたり決めたりする ・自分達のチームが勝てるようを作戦を考える ・繰り返ししながら困ったことやおかしいと思うことを出し合い、納得のいくようにルールを作り替えたり足したりする ・挑戦してきたことや考えて 	<p>○遊びをより面白くしたい、勝負に勝ちたいなど、目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続けたり、繰り返し挑戦したりしようとする①</p> <p>○自分達で遊びを考えることで遊びが面白くなってきたことを感じて、満足する②</p> <p>○負けたりしたいことがうまくいかなかつたりして悔しい気持ちを、友達の気持ちを聞いたり様子を感じたり、友達や先生に</p>	<p>◎遊びをより面白くしたいと思い考え続けられるように、考えたことをどんどんやって見ながら、どうだったか振り返り、次につなげていく。</p> <p>◎自分の決めた目標に向かって取り組めるように、その日の目標を尋ねたり、それを自分で振り返ったり実現に向かえたりする目標にできるようさらに尋ねて具体的にしたり、目標に向かう姿を逃さず褒めて励ましたりする。</p> <p>*自分達で遊びを考えることで遊びが面白くなってきていることがわかるように、考えた経過を言葉や図で示しておく。</p> <p>◎自分達で遊びを創り上げていく満足感を感じられるように、考えて変えたり加えたりすることでの変化を言葉にしたり自分達で考えてきたことで遊びが面白くなって嬉しい気持ちに共感したりする。</p> <p>◎負けたりうまくいかなかつたりして悔しい気持ちを切り替えられるように、友達の悔しいけれど、次頑張ろうと思っている姿や励ましてくれる友達を知らせたり、仲間の気持ちを聞く機会を作ったり、これまでの頑張りを</p>

<p>きた遊び、なりたいものを組み合わせて遊びを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流れが分かって、次の準備をしたりタイミングを計つたりして自分から動こうとする ・より見やすくしたりするように、並び方や位置、向き、待ち方等を考える 	<p>励まされたり、目指す自分に照らし合わせたりして、切り替えようとする③</p> <p>○友達や先生に言葉にしてもらったり、自分で振り返ったりし、自分の気持ちや言い方、好きなこと、苦手なこと、成長、頑張り、性格を自覚し、認めようとする④</p> <p>○みんなで遊びを創りあげ、一緒に進めたり、友達のチームが勝ったことや作戦がうまくいったことを一緒にになって喜んだり、負けたことを一緒に悔しがったりし、仲間とのつながりを感じる⑥</p> <p>○いろいろな友達の考えのよさや気持ち、得手不得手、頑張りに気付いたり認めたりする⑦</p> <p>○遊びを面白くするために考えたことを相手に伝わるように、言葉を足したり言い換えたり、大きな声で言ったりして伝えようしたり、伝えて聞いてもらえた、遊びが面白くなないと感じ、伝えるよさを感じたりする⑧</p> <p>○勝てるように、チームの友達と作戦を立てたり、声を掛け合ったり応援したりするなど、自分ができることを見付けてしようとしたりする⑩</p> <p>○遊びを面白くするためには、みんなが納得できるように、遊び方やルール、</p>	<p>認めながら励ましたり、どんな自分になりたいか話したりする。</p> <p>◎自分の気持ちや言い方、好きなこと、苦手なこと、成長、頑張り、性格に気付き、認めようと思えるように、友達が感じた思いや日頃からの頑張りを伝え合う機会を作ったり、教師が日頃の姿と結び付けて個性を言葉にしたり、自分で振り返って感じていることを言葉にしたりする。</p> <p>◎みんなで話し合いながら遊びを創っていく楽しさを感じられるように、考えたことを出し合う場をもち、考えのよさを認めて取り入れたり、友達の考えに思ったことやもっとよくなりそうなこと、これを加えた方がいいなど、いろいろな意見がないか尋ねながら遊び方やルール、設定、動き、流れなどを創っていったりする。</p> <p>◎チームの友達と勝ったことや作戦がうまくいったことを一緒に喜んだり、負けたことを一緒に悔しがったりするように、教師も一緒に勝負に参加したりタッチをしたり肩を組んだりなどをしてきっかけを作ったりする。</p> <p>◎いろいろな友達の考えのよさや気持ち、得手不得手、頑張りに気付いたり、認めたりしようと思えるように、教師が考えや気持ちに关心をもって聞く姿を見せたり、友達の考えや気持ちを聞いてどう思うか尋ねたり、友達の以前と比べた姿を言葉にして知らせたりする。</p> <p>◎相手に伝わるように話そうと思えるように、頷いたり相槌を打ったりしながら関心をもって聞いたり、わかりにくいくことを尋ねたり他の子どもたちも尋ねるよう促したり、わかりやすい言い方を褒めたりする。</p> <p>◎伝えるよさを感じられるように、関心をもって聞いたり、聞いてくれている友達を知らせたり、考えを言ったことで遊びが面白くなりそうなことを話したりする。</p> <p>◎勝てるようにチームの友達と作戦を立てたり自分ができることを見付けてしようするように、作戦を考える時間をとったり、声をかけ合ったり作戦通りしようしたり応援したりするなど、チームが勝つために考えているよさを言葉にしたり、何かできることはないか尋ねたり、教師が見付けたできることに気付くきっかけを与えたりする。</p> <p>*みんなで考えてきたことがわかるように、考えたことやその理由、決めしたこと、変更したことなどを文字や絵で描いたり、写真を添え</p>
---	--	---

	<p>進め方、場の使い方、作戦等を友達と一緒に考えたり、試して振り返ったりして、決めようとする⑩</p> <p>○勝つために、遊びを進めるために、声をかけ合ったり、考えた作戦をしようとしたりするなど、自分ができることを見付けてしようとする⑩</p> <p>○公平になるように数を揃えたり、勝負を決める時に数えたり速さを競ったりするなど、数を使って考えたり判断したりしようとする⑭</p> <p>○友達の話し方を聞いて、わかりやすい言い方を感じたり、自分の思いや考え方を、相手に分かるように、言葉を足す、言い換える、選ぶ、つなげる、順序立てる、理由を添えるなどして伝えようとしたりする⑯</p> <p>○遊びのイメージや世界観に関連する絵本や図鑑を見たりお話を聞いたりして、なりたいもののイメージを膨らませたり、なりたいものに気持ちや生態、状況から、動き方や話し方、表現の仕方を考えたり、友達の動き方からヒントをもらったりしながら、表現することを楽しむ⑰</p>	<p>たりして掲示しておく。</p> <p>◎考えたルールがみんなにとって楽しく納得できるものになるように、それぞれの思いを聞いて納得がいっているか確かめたり、納得がいかないことがある場合には、理由を聞き、どうしたらいいのか尋ねたりする。</p> <p>◎考えたことを試して振り返り決めができるように、考えを試すことを提案したり、試す様子を撮影して動画や静止画を見る機会を設けたり、試してみてどうだったか尋ねたりする。</p> <p>◎自分ができることを見付けてしようと思うように、声をかけ合ったり、考えた作戦をしようしたりするなど、自ら動く姿を褒めたり、周りの状況を知らせて、何をすべきか考えるきっかけを作ったりする。</p> <p>*遊びの必要から公平にしたり勝敗を判断したりするために数を使って考えられるように、グループやクラスで勝負する設定にしたり、数に意識が向くように、描いたり並んだりなどして、視覚的に見られるようにしたりする。</p> <p>◎数を揃えたり比べたりなどして考えられるように、数に関しての気付きを拾って、考えるきっかけにしたり、揃え方比べ方と一緒に考えたり試したりする。</p> <p>◎わかりやすい言い方を感じるように、言葉を足したり言い換えたりなどしてわかりやすくなっているところを具体的に取り上げてわかりやすさを話す。</p> <p>◎相手に伝わるように言い方を考えて伝えようとするように、言葉を足す、理由を添えるなど、考えて伝えようとしているポイントを言葉にしたり、聞いている友達の反応を知らせたりする。</p> <p>*なりたいものの動きや生活、食べ物などの生態や、暮らしている状況が分かって表現することができるよう、暮らす環境の生き物や状況などが描かれた絵本や図鑑、写真等の掲示を用意しておく。</p> <p>◎なりたいものの生態から動きを思い浮かべてなりきれるように、食事や得意なことなどの生活場面を切り取ってごっこ遊びをする機会を設ける。</p> <p>◎なりたいものの気持ちや性格、場面設定から表情や動きを考えられるように、事前にどんな場面の何になって遊ぶのか話したり、気持ちや状況、性格などについて遊びの世界観に合う言葉を使って話しかけたりする。</p> <p>◎友達の表現のよさを感じたり考えを取り入</p>
--	--	---

	<p>○遊びがより面白くなるルールや設定、流れなどを考え、その効果を感じたり、作ったり作り替えたりしていこうとしたりする⑯</p> <p>○お客さんに見てもらうことを意識して、並び方や体の向き、待ったり出たりする位置や待ち方等を考えようとする⑰</p>	<p>れたりしようと思えるように、友達の表現を見る場をもち、感じたよさや友達が考えていることを尋ねる。</p> <p>◎ルールや設定の必要を感じ、自分達でルールや設定を考えられるように、最小限のルールや設定を始めに話し合って決め、困ったことが起きたらその都度みんなでどうしたらよいか考える機会を設ける。</p> <p>◎イメージを膨らませて話の展開を考えられるように、遊びの世界観に関連のあるいろいろな絵本を読んだり、展開について考える中で、互いの考えを聞きながら進めたりする。</p> <p>◎挑戦していることやなりきって遊んでいる遊びなども含めながら、遊びの設定や流れなどを考えていくように、取り入れたい内容を確かめながら、設定や流れと一緒に考えていく。</p> <p>*考えてきたことが視覚的にもわかるように、考えたことやその理由、困ったことなどをホワイトボードや画用紙に描いたり写真を貼ったりなど、残しておき、見られるように置いておく。</p> <p>◎考えたルールや設定をより面白くなるように考えていくように、考えたことをやってみてどうだったか振り返って尋ねたり、やってみたことから次に向けてどうするか考える機会を作ったりする。</p> <p>◎お客さんに見てもらうことを意識して並び方や体の向き等を考えられるように、お客さんの位置から見る機会を設けたり、教師がお客さんになって感じたことを伝えたりお客さんの視点で撮った写真を見せたりする。</p>
--	--	---

CB 【いろいろな動きや技に挑戦したり体を動かして遊んだりする】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな動きをしてみる ・挑戦している姿を見せ合う ・繰り返し挑戦する ・できるようになったことや上手になってできていることを見せ合う ・友達を応援したりコツを教えたりする 	<p>○ブリッジやカエルの足うち、側転、縄跳び、フープ、ボールなど挑戦したい技を決め、できるようになりたい、もっとうまくできるようになりたいなどと目標をもち、繰り返し挑戦する①</p> <p>○できるようになったことや上手になっていること</p>	<p>◎ブリッジやカエルの足うち、側転など自分の挑戦したい技に挑戦しようと思えるように、挑戦したい技を尋ね、頑張れば必ず出来るようになることや不安な子どもには教師も一緒に練習することや、友達も助けてくれることを伝える。</p> <p>◎挑戦してみよう、こんな風にできるようになりたいと思えるように、して見せたり、友達がする姿を見せたり、目標を聞いたりする。</p> <p>◎うまくいかなくても、もう少ししてみよう、諦めずにしてみようと思えるように、励ましたり、どうしたらいいのか一緒に考えたり、頑張っている友達の姿を見せたり、友達も助けてくれることを伝えたりする。</p> <p>◎できるようになった、上手になったと感じ、前とは違う自分に満足できるように、頑張</p>

<p>・できるようになったことを一緒に喜ぶ</p>	<p>を先生や友達に見てもらったり褒めてもらったりし、前とは違う自分を感じて自信をもつたり、頑張ったことに満足したりする ②</p> <p>○うまくいかなくて悔しい気持ちを、友達や先生に励まされたり、目指す自分に照らし合わせたりして切り替え立て直そうとする ③</p> <p>○何度も挑戦する中で、難しくて苦労していることや挑戦することで好きになったと感じたり、できるようになつた頑張りを実感したりする④</p> <p>○教えてくれる友達や応援てくれる友達の存在を感じ、助けてくれる友達や一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じる⑤</p> <p>○できるようになったことを一緒にあって喜び、仲間とのつながりを感じる⑥</p> <p>○いろいろな友達の考えのよさや得手不得手、頑張りに気付いたり、認めたりする⑦</p> <p>○したいことが思うように出来なくて困っている友達を見て自分が感じているコツを教えたり、挑戦している友達を励ましたりしようとする⑨</p> <p>○バランスを崩したり勢いがついたりして倒れたときに痛くないように、側転やブリッジ、カエルの足うちはクッションになる芝生やマットでしようと場所を選ぶ⑫</p> <p>○友達にぶつかって痛い思いをしたり、友達に痛い思いをさせたりしないように、側転やブリッジをする時は、広い空間を見付けたり、向きを揃えたり、周りの人やものに注意を向けて確かめたりしようしたり、危なかつたことを振り返って危なくな</p>	<p>りを認めたり、動画を撮って以前と動きを比較したり、前とは違うところを具体的に言葉にしたり、一緒に喜んだりする。</p> <p>○うまくいかない悔しい気持ちを立て直して挑戦しようと思えるように、友達の励ます声に気付かせたり、何度も頑張っている気持ちを認めたり、頑張った分だけ上達すると励ましたり、できるようになりたいと思っていた気持ちと一緒に振り返ったりする。</p> <p>○何度も挑戦する中で、自分の苦手なことや好きなこと、頑張りなどを感じられるように、挑戦していることに対しての難しさや楽しくて好きになった気持ちなどに共感したり、難しくても何度も挑戦していた姿を振り返って頑張りを褒めたり、園生活のなかでも日頃の姿と結び付けて同じようなことが何度かあったことを思い出させたりする。</p> <p>○助けてくれる友達や一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じられるように、応援してくれている友達や傍で頑張って練習している友達の存在を知らせる。</p> <p>○仲間とのつながりを感じながら練習できるように、誘って集まってすることを提案したり、できるようになったことを一緒に喜んで周りに知らせたりする。</p> <p>○いろいろな友達のよさや得手不得手に気付いたり、認めたりしようと思えるように、教師が考えに関心をもって聞く姿を見せたり、友達の考えを聞いてどう思うか尋ねたり、友達の以前と比べた姿を言葉にして知らせたりする。</p> <p>○友達の頑張りを褒めたり、伝えたりしようと思えるように、友達の姿を見てどう思うか尋ねたり、伝えると相手が嬉しい気持ちになりすることを伝えたりする。</p> <p>○したいことが思うようにできなくて困っている友達が自分でできるようになるために、自分ができることをしようと思えるように、困っている友達を知らせたり、何かいい考えはないか、どこまで手伝ったら自分でできるようになりそうか尋ねたりする。</p> <p>○安全に側転やブリッジ、カエルの足うちをするためにはどうしたらよいかを考えられるように、どんな危ないことがあるか、危ないことに対してどうしたらよいかを尋ねる。</p> <p>○側転をする時に、危なくないか、広い空間があるかどうか確かめられるように、十分な場所があるか尋ねたり、周囲を確かめている姿をほめたりする。</p> <p>○側転をする時に危なくない向きを考えられるように、進む方向やそのまま進むとなるか尋ねる。</p> <p>○危なかった時に、危なくなった理由が分かり気を付けられるように、どうして危なく</p>
---------------------------	---	--

	<p>いようにしようしたりする⑫</p> <p>○友達の動きや遊具、道具、したい動きに合わせた体の動かし方や使い方、力加減、タイミングを見たり考えたり試したりして、コツや感覚をつかみ、意識して体を動かそうしたり、いろいろな動きの感覚を感じたりする⑬</p>	<p>なったのか尋ねたり一緒に考えたりする。</p> <p>◎体の動かし方や使い方などをいろいろに試せるように、友達がするのを見る機会を設けたり、教師もやって見せたりする。</p> <p>◎体の動かし方や使い方などのコツを知ったりつかんだりするように、コツをつかんでいる友達に感じているコツを尋ねて聞く機会を設けたり、教師の感じているコツを知らせたり、手を添えたり支えたりなどして手伝い、感じ取る状況を作ったり、コツにつながる動きを言葉にして意識させたりする。</p> <p>◎いろいろな動きの感覚を感じられるように、子どもと一緒に試したり、何度も挑戦したりする機会を設けたり、動きの感覚を感じられる体勢になるようポイントとなる動きを言葉にしたり手伝ったりする。</p>
--	--	---

D【道具を準備したり片付けたりする】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたい準備や片付けをする。 ・自分の担当を決める ・準備や片付けの役割を果たす 	<p>○自分で準備や片付けを進めていることや、素早くしたり次のことを見て動いたりしている最初難しさを感じていたことができるようになったことを感じて自信をもつ②</p> <p>○友達と一緒に準備や片付けをするために、自分ができることをしようしたり、声を掛け合ってやり方を考えたり確認したりして決めた役割を責任もってしようしたりする⑪</p> <p>○遊び方や動きのことを考えて、道具の置く位置や間隔などを確かめたり調節したりしようとする⑭</p> <p>○並んだり走ったりする位置が分かりやすいようにコーンを置くなど、必要に応じて遊びがしやすいように場を整えようとする⑮</p>	<p>◎できるようになったことを自覚して自信をもてるように、自分で準備や片付けを進めてきたことや、素早くしたり次のことを見て動いたりしている難しさを感じていたことができるようになっていることを言葉にしたり一緒に喜んだりする。</p> <p>◎自分で遊びの準備や片付けをするために、できることを見付けてしようとしたり、決めた役割を責任をもってしようとしたりするように、役割を決める際に必要を感じていたり納得したりしているか確かめたり、最後まで責任をもってやっている姿をみんなで応援しながら待ったり、役割を思い出せるように掲示しておいたりする。</p> <p>◎遊び方や動きに必要な空間を考えて道具の準備ができるように、どんなことをする場でどれくらいの空間が必要なのか尋ねたり、少し離れて間隔を見ることを勧めたり、どのくらいの距離なのか歩幅で確認して見せたりする。</p> <p>*必要に応じて場を整えられるように、複数の大きさや色のコーンや縄などをいつでも持ち出せる場所に置いておく。</p> <p>◎必要に応じて遊びがしやすいように場を整えようとするように、不都合を感じているが言葉にしたり改善に向けた行動に移さない場合は、不都合はないか尋ねたり、教師が推察した子どもにとっての不都合を言葉にして尋ねたり、どうすると遊びやすくなるか問い合わせたりする。</p>

E 【運動会で見てもらう】

予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ②教師の援助
・自分達の創った遊びや頑張ってきたことを見てもらう	◎頑張って取り組んできたことに自信をもち、見てもらいたいところを意識しながら最後まで取り組み、やり遂げた満足感を味わう②	◎やり遂げた満足感を味わえるように、これまでの頑張りと今日の頑張りを結び付けながら、頑張っていたこと、自信をもってやっていたことを褒める。